

第5学年 国語科

教科目標

- ① 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てます。
- ② 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てます。
- ③ 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。

学習計画

月	単元・教材名	時間	書写	学習活動
4	○ 自分の思いが伝わるように声に出して読もう		2	
	・ だいじょうぶ だいじょうぶ	5		・ 物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、声に出して読む。
	・ 本に親しもう	3		・ 連想によって言葉を広げ、書く題材を探す。
	・ メモを使って題材をさがそう	3		
	・ 文の組み立てに気をつけよう	2		・ 言葉の係り受けに理解を深め、意味が正確に伝わる文を書くことの大切さを知る
5	○ 文章の構成を考えながら要旨を読み取ろう		4	
	・ 動物の体と気候	6		・ 文章の構成を考えながら、要旨を読み取る。
	・ ゲストティーチャーをすいせんしよう	3		・ 理由を明確にして、人物を推薦するための話をする。
	・ 漢字の由来に関心を持とう	2		・ 漢字の由来について知り、漢字の四つの成り立ちを理解する。
	○ 物語の構成に気をつけて読もう		4	
・ 世界でいちばんやかましい音	7		・ 「設定」「展開」「山場」「結末」の部分を確認して、物語の構成をとらえる。	
・ 意見とその理由を聞き取ろう	3		・ ふさわしい理由を挙げて意見を述べているか、考えながら聞く。	
・ 熟語の構成を知ろう	2		・ 二字熟語について、語の構成から意味を推測できることを知り、その方法を理解する。	
6	○ 書き手の意図を考えながら新聞を読もう		2	
	・ 新聞記事を読み比べよう	7		・ 二つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取る。
	・ 立場を明確にして書こう	7		・ 自分の意見が分かりやすく伝わるように、立場を明確にし、構成を考えて書く。
	・ 古文を声に出して読んでみよう	3		・ 古文の冒頭を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。
	・ 本は友達	1		・ 多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。
7	○ 詩と俳句を味わおう	3	3	・ 情景や心情を思い浮かべながら、詩や俳句を声に出して読み味わう。
	水のところ 山のあなた 俳句			
9	・ パネル討論をしよう	5		・ 自分の立場を明確にして、相手の意図を考えながら話し合う。
	・ 資料を読んで考えたことを書こう	4		・ 資料を生かして、自分の考えたことが伝わるように書く。
10	○ 物語のおもしろさを考えて読み味わおう		4	
	・ 注文の多い料理店	9		・ 構成や表現の工夫に目を向けて、物語を読み味わう。
	・ ふしぎな世界へ出かけよう	6		・ 構成を考えて、場面の情景が伝わるように表現を工夫しながら筋道の通った物語を書く。
11	・ 意味をそえる言葉に目を向	2	1	・ 程度や限定、強調を表す言葉の働きや使い方を理解し、文のニュアンス

	けよう			をとらえる。
12	○ 森林について興味を持ったことを調べよう ・ 森林のおくりもの	9		・ 題名の工夫や述べ方に注意して読み、要旨を読み取る。
	○ ふさわしい方法を選んで発表しよう ・ 気持ちを伝える言葉について考えよう	8		・ 内容や目的に合わせて、効果的な発表方法を工夫する。
	・ 敬語を適切に使おう	2	3	・ 敬語の種類や役割を知り、適切な使い方を理解する。
	○ 動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう ・ 大造じいさんとがん	8		・ 一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。 ・ 学習した漢字を書く練習をする
1	・ 古文に親しもう	4	4	・ 古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知る。
	○ 活動したことを伝える文章を書こう ・ 伝えよう、委員会活動	9		・ 目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書く。
2	・ わたしの「とっておきの一枚」 ・ 漢字の練習	6	3	・ 組み立てを工夫して話し、話し手の思いをとらえながら聞く。
	○ メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう ・ テレビとの付き合い方	9		・ 例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、読み取ったことをもとに自分の考えを書く。
3	○ 人間の生き方をえがいた伝記を読もう ・ 手塚治虫	10		・ 伝記を読み、人物の考えや生き方について考える。
授業時数の合計 175時間				

国語科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとしているかどうかという観点で見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習態度 ・ 学習中の発言 ・ 聞き取りメモ ・ ワークシート ・ 作文・感想文・説明文 ・ 日記 ・ ノートへの記入 ・ 音読、朗読の様子 ・ 漢字ノート ・ テスト など ・ 習字作品 総合的に評価します。
話す・聞く力	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについての的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしているかどうかという観点で見ます。	
書く力	目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書いているかどうかという観点で見ます。	
読む力	目的に応じ、内容や要旨をとらえながら文章を読んでいるかどうかという観点で見ます。	
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いているかどうかという観点で見ます。	